

## 秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 24 年 9 月）

仙台管区气象台  
火山監視・情報センター

めだけ  
女岳では噴気地熱域が引き続き確認されています。  
火山性地震は少ない状況で、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。  
平成21年10月27日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1～2①）

東北地方整備局が仙岩峠（女岳山頂の南約5km）に設置している監視カメラによる観測では、女岳から最大30mの噴気を観測しました。噴気活動は低調な状態となっています。

#### ・地震や微動の発生状況（図2②～③）

火山性地震は少ない状況が続いています。  
火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図3）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1※ 秋田駒ヶ岳 女岳からの噴気の状況（9月25日06時45分頃）

- ・仙岩峠（女岳山頂の南約5km）に設置されている監視カメラ（東北地方整備局）による。
- ・実線赤丸で囲んだのが、女岳からの白色噴気で高さは20m。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成24年10月分）は平成24年11月8日に発表する予定です。

※この資料は、気象庁のデータの他、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

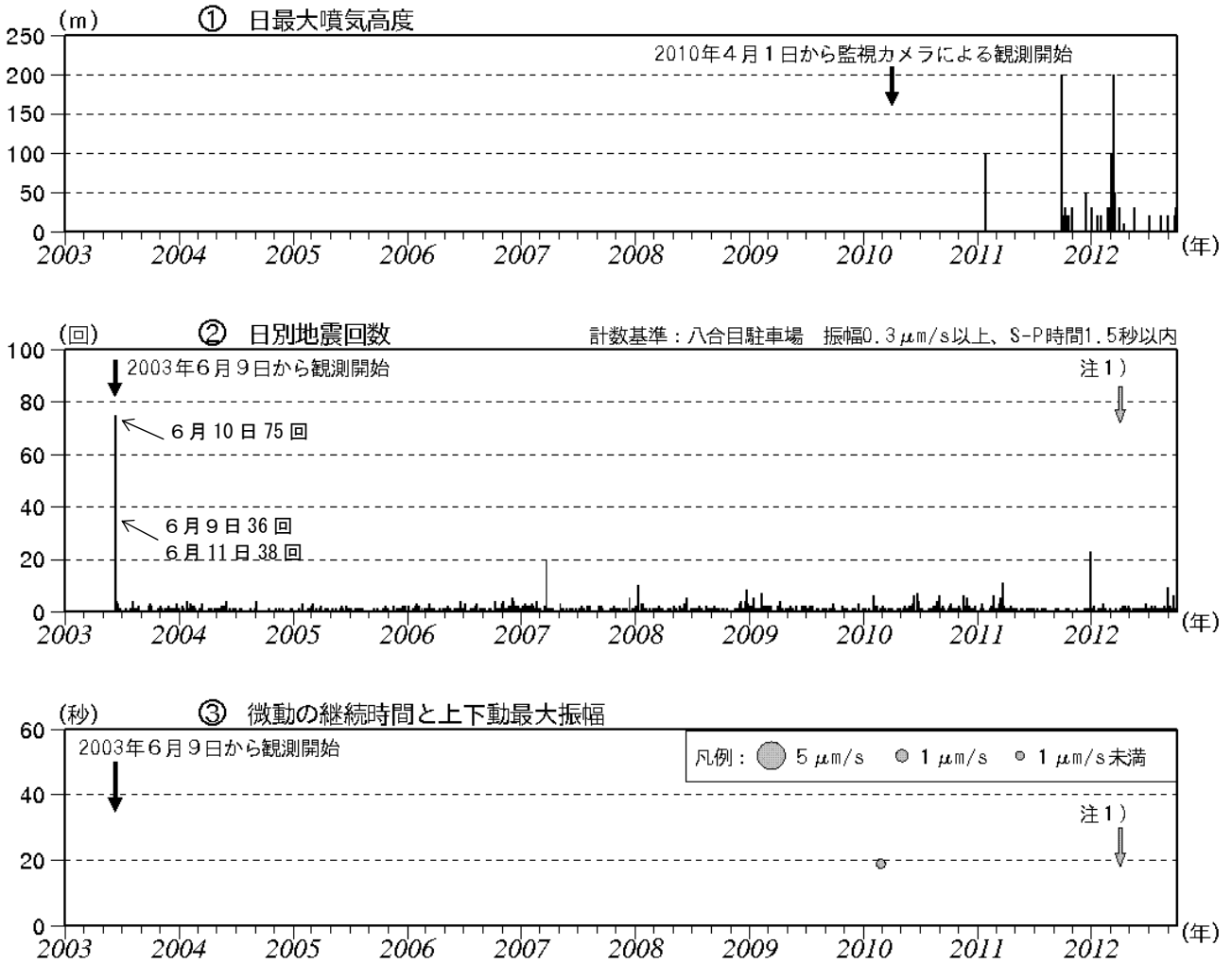


図2\* 秋田駒ヶ岳 火山活動経過図 (2003年6月～2012年9月)

- ・①熊ノ台（女岳山頂の南西約5km）及び仙岩峠（女岳山頂の南約5km）に設置されている監視カメラ（東北地方整備局）による。
- ・②③基準観測点の変更は次のとおりです（角カッコ内は地震回数の計数基準）。  
観測開始 2003年6月9日～東北大学秋田駒ヶ岳観測点 [振幅 $0.5\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間1.5秒以内]  
注1) 2012年4月1日～八合目駐車場 [振幅 $0.3\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間1.5秒以内]

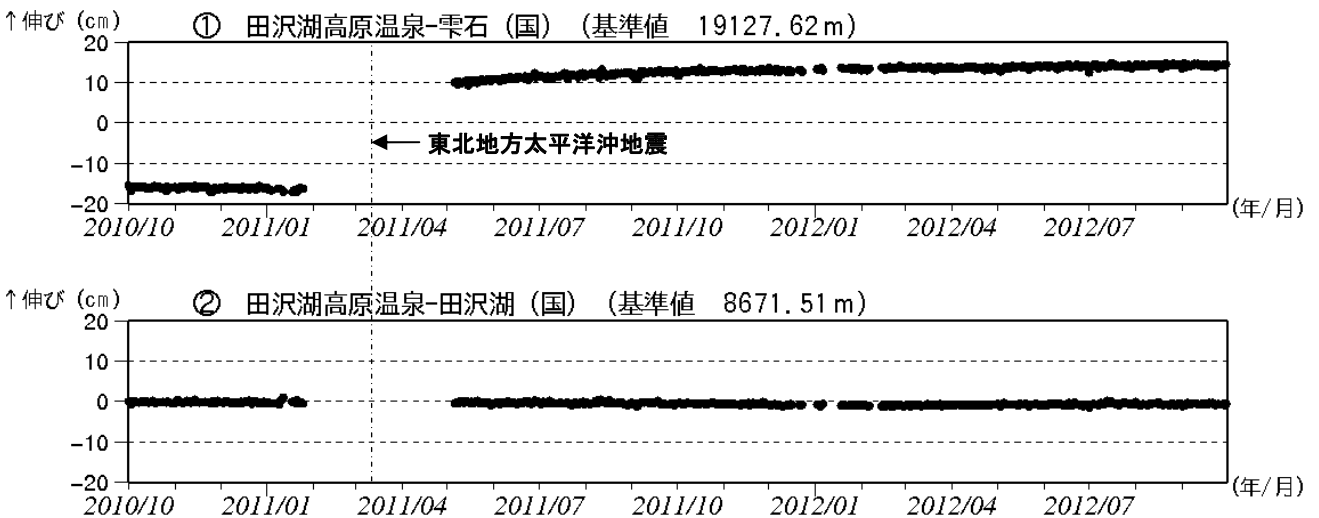


図3\* 秋田駒ヶ岳 GPS基線長変化図 (2010年10月～2012年9月)

- ・①の基線では、欠測期間中に東北地方太平洋沖地震によるデータの飛びがみられます。また、その後の変動は、東北地方太平洋沖地震による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
- ・①～②は図5のGPS基線①～②に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。



図4 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学 （東地）：東北地方整備局

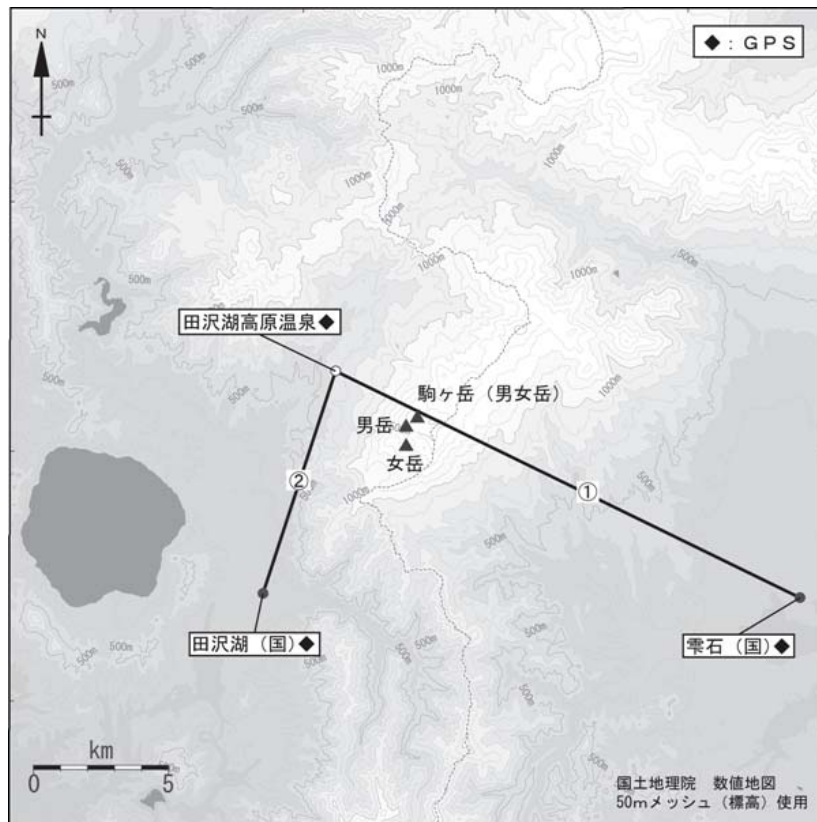


図5 秋田駒ヶ岳 GPS観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院